東福保育園　　5歳児　　さくら組

年間テーマ

探求テーマ　　三色の寒天を使ってどんな探求が生まれるか

２０２５年　8月　　8日(木)

子どもの姿	・すくわくを通して、色の変化に気づいたり知ったことを 友だち同士でやりとりを楽しんでいる。 ・発見したことを友だちや保育士に伝えてやりとりをす
「問い」を考える	・寒天でも色は混ざり合うのか
活動をデザインする	・赤・青・黄色の寒天を用意し、混ざりあった変化も楽しめるように透明カップや試験管などを用意する。 ・友だちとやりとりをしながら寒天の感触を楽しむ時間も作っていく。
環境をデザインする	・じっくりと楽しめるように時間を多く設定していく ・寒天も余分に用意し存分に楽しめるようにする。 ・誤食などがないように事前に全体でも知らせる。
小グループを構成する	・自分の思いを友達や保育士に伝えられるようにする ・様々なことに対して興味を持っている子どもと一緒に楽しめるようにグループを構成していく。
振り返り	今回の寒天遊びを通して、色の混ざり方や分量の調節を楽しんだ。赤と青の寒天を前に、子どもたちは「どのくらい混ぜたらきれいな色になるかな？」と、友だち同士で相談しながら少しずつ分量を変えて楽しんでいた。思い通りの色ができると嬉しそうに見せ合ったり、納得のいく色作りを共有した。また、色を食べ物に見立てるなど想像して楽しむ遊びにも発展している子もいて、とても興味深いやりとりを見ることができた。

子どもの言葉・姿	写真
・まずは、赤・青・黄色の寒天を牛乳パックから取り出し、各々好きな遊びを楽しむ。 A「これ、混ぜたら色変わってきたよ」（緑色になっていくのを見せる） B「えー、それ黄色と青どれくらい入れたらそうなったの？」 A「んーわからない。黄色の方がちょっと多いかな？」 やりとりをしたあとに、違う色も作るA。 A「今、紫もつくってるよ」 C「紫なら、おれも作れるよ」と言い、Aと一緒に作り始める。 A「あとちょっとなんだけどなー」 C「赤がちょっと足りないんじゃない？もらってくるよ」 赤を二人で足して混ぜて楽しむ。 A「もうすこし、もうすこし」 C「あ、できてきたじゃん！いいなー」 A「赤と青もうちょっと足したら？青多く入れたら？」 A「みてー」と出来上がった色を保育士に見せる。 それを見たCも思い切り混ぜたりして試行錯誤して作る。 その姿を見ていた、Dも会話に加わる。 D「私は、カレーを作ってるよ」と三色を全部混ぜた色を食べ物に見立てる。 D「一番上に乗っかているのは何かわかる？」と赤色を指さし、問いかける。 B「わからない、なに？」 A「これは、にんじんだよ」と話す。しばらく、食べ物の色に見立てて楽しんだ。 AとCはその間に、納得のいく紫色を作ることができて嬉しそうにしていた。	